

Harmony

いじめ・いのちについて考えた みんなの思い・気づき

きのうの「いじめ・いのちについて考える日」を終えて、7年生の振り返りを一部紹介します。先生たちがどれだけ話をしようか、やっぱりみんなが感じた言葉にはかきません。「当たり前前に感謝しよう」という言葉もよく聞きますが、「いじめをしないなんて当たり前」と思いながらも、無意識に、悪気なく、相手を傷つけてしまっていることに気づかないこともある。だから、一度立ち止まり、私たちは大丈夫か…考えるきっかけになりましたね。私たち同級生の言葉をしっかりと読んで、みんなで安心・安全な過ごしやすい学校を目指しましょう。

【1組】

- ・いじりは、いじめに片足を突っ込むようなこと。傍観者にならず声をかけることが大切。
- ・いじめはだめだと改めて思った。教室では、いつもいじりが飛んでいるからまずはそれをなくそうと思った。
- ・いじめないのは当たり前。いじめられているのを止める。
- ・いじめはどんなことがあってもしてはいけないと思った。言葉は悪気がなくても相手が傷つく時があるからしっかり相手の気持ちを考えることが大切だと思う!!
- ・いじりといじめの違いが分かった。これから無意識でも言わないようにする。いじめられている所を見たら、しっかり注意します。
- ・いじめは、無自覚でやりすぎないいじりをした人と、わざとした質の悪い人がいる。無自覚の人でも気づかない人とごめんと言ってくれる人もいます。注意して先生に言ってもダメな人もいます。その場合は時間が過ぎるのを待つしかないが、私はそれが間違いだと思う。なぜなら、いじめられた側が悪いのではなく、いじめた側が悪いと思うからだ。「いじめた側にも理由があって」ということがあるが、それでもいじめをする理由にはならない。

【2組】

- ・一つ一つの発言に責任を持ち、行動して加害者側にならないようにする。
- ・やっぱり、いじりをしないことがいじめをなくすことに繋がると思うから自分で言うことも大切だし、周りの人が言うことも大切なんだと思いました。
- ・自分はだいぶいじる側の人だから注意しないといけないと思った。
- ・いじめといじりは改めてよくないことだと思いました。いじりといじめのない学校を目指したいです。
- ・今日、いじりといじめについて考えました。とても悲しかったです。どんな思いで亡くなったのかなど…色々複雑な気持ちでした。なので私たちがいじめを少しでもなくすようにしたいと思いました。
- ・いじりはすぐ止められて、いじめはすぐには止められず長期的に続く。いじりがエスカレートするといじめになるかもしれないから、いじりが行われている時点ですぐ止める。